

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成27年11月26日 (2015.11.26)

【公表番号】特表2014-508799(P2014-508799A)

【公表日】平成26年4月10日 (2014.4.10)

【年通号数】公開・登録公報2014-018

【出願番号】特願2014-500487(P2014-500487)

【国際特許分類】

A 6 1 K	35/12	(2015.01)
A 6 1 P	39/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/08	(2006.01)
A 6 1 P	1/12	(2006.01)
A 6 1 P	7/06	(2006.01)
A 6 1 P	7/00	(2006.01)
A 6 1 P	7/04	(2006.01)
A 6 1 P	17/14	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/02	(2006.01)
A 6 1 P	25/06	(2006.01)
A 6 1 P	25/14	(2006.01)
A 6 1 P	25/22	(2006.01)
A 6 1 P	25/28	(2006.01)
A 6 1 P	3/02	(2006.01)
A 6 1 K	35/28	(2015.01)
A 6 1 K	35/50	(2015.01)
A 6 1 K	35/44	(2015.01)

【F I】

A 6 1 K	35/12	
A 6 1 P	39/00	
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 P	1/08	
A 6 1 P	1/12	
A 6 1 P	7/06	
A 6 1 P	7/00	
A 6 1 P	7/04	
A 6 1 P	17/14	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	25/02	
A 6 1 P	25/06	
A 6 1 P	25/14	
A 6 1 P	25/22	
A 6 1 P	25/28	
A 6 1 P	3/02	
A 6 1 K	35/28	
A 6 1 K	35/50	
A 6 1 K	35/44	

【手続補正書】

【提出日】平成27年10月2日(2015.10.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

接着間質細胞を含む、内因性造血系に損傷を受けた対象において、内因性造血細胞の再増殖を誘導するための組成物であって、前記接着間質細胞は、マッチさせた外因性造血幹細胞が入手できないときに前記対象に投与され、前記接着間質細胞が、三次元培養条件下で培養されたものである、組成物。

【請求項2】

内因性造血細胞の再増殖が、内因性造血細胞の数の増加を含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

内因性造血細胞の再増殖が、CD45を発現する造血細胞の数の増加を含む、請求項2に記載の組成物。

【請求項4】

前記内因性造血系が放射線被曝より損なわれる、請求項1に記載の組成物。

【請求項5】

前記放射線被曝が進行中である、請求項4に記載の組成物。

【請求項6】

前記内因性造血系が化学療法により損なわれる、請求項1に記載の組成物。

【請求項7】

前記化学療法が進行中である、請求項6に記載の組成物。

【請求項8】

前記接着間質細胞の入手源が、胎盤、脂肪組織、または骨髄である、請求項1に記載の組成物。

【請求項9】

前記三次元培養条件が、細胞増殖を支援する、請求項8に記載の組成物。

【請求項10】

前記接着間質細胞の入手源が、胎盤、脂肪組織、または骨髄であり、前記三次元培養条件が、分化なしでの、細胞増殖を支援する、請求項1に記載の組成物。

【請求項11】

前記接着間質細胞が、分化なしでの、細胞増殖を支援する三次元培養条件下で、バイオリアクター中で培養された胎盤接着間質細胞である、請求項10に記載の組成物。

【請求項12】

前記接着間質細胞の約60%未満が、アイソタイプ対照と比較して、フローサイトメトリによって検出される、マーカーCD200が陽性である、請求項1に記載の組成物。

【請求項13】

前記接着間質細胞の約60%未満が、アイソタイプ対照と比較して、免疫蛍光法によって検出される、マーカーOC T-4が陽性である、請求項1に記載の組成物。

【請求項14】

前記接着間質細胞が、F l t-3リガンド、I L-6、およびS C Fを分泌する、請求項1に記載の組成物。

【請求項15】

前記投与が、血管内注射、筋肉注射、腹腔内注射、皮下注射、または吸入によるものである、請求項1に記載の組成物。

【請求項16】

前記投与が、筋肉注射または静脈注射によるものである、請求項 15 に記載の組成物。

【請求項 17】

前記第 1 の投与後約 2 日～約 21 日目に少なくとも 1 つの追加的な治療有効量の接着間質細胞が投与される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 18】

前記第 1 の治療有効量の投与および前記少なくとも 1 つの追加的な治療有効量の投与が、筋肉注射によるものである、請求項 17 に記載の組成物。

【請求項 19】

対象が、放射線被曝または化学療法を受けており、放射線被曝または化学療法後の指定期間内に接着間質細胞が前記対象に投与され、少なくとも 1 つの追加的な治療有効量の接着間質細胞が前記対象にその後投与される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 20】

前記放射線被曝または化学療法が進行中である、請求項 19 に記載の組成物。

【請求項 21】

前記第 1 の治療有効量または前記少なくとも 1 つの追加的な治療有効量の投与が独立して、血管内注射、筋肉注射、腹腔内注射、皮下注射、または吸入によるものである、請求項 19 に記載の組成物。

【請求項 22】

前記第 1 の治療有効量の投与および前記少なくとも 1 つの追加的な治療有効量の投与が、筋肉注射によるものである、請求項 21 に記載の組成物。

【請求項 23】

対象が、放射線被曝または化学療法を受けており、放射線被曝または化学療法後の指定期間内に接着間質細胞が前記対象に投与され、曝露の次のマッチング期間後に外因性造血幹細胞と共に第 2 の治療有効量の接着間質細胞が前記対象に投与される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 24】

前記放射線被曝または化学療法が進行中である、請求項 23 に記載の組成物。

【請求項 25】

前記外因性造血幹細胞を前記対象とマッチさせる工程をさらに含む、請求項 23 に記載の組成物。

【請求項 26】

前記外因性造血幹細胞が、マッチさせた同種の臍帯血細胞または骨髓細胞である、請求項 23 に記載の組成物。

【請求項 27】

前記外因性造血幹細胞は前記対象とマッチするが、前記接着間質細胞とはマッチしない、請求項 23 に記載の組成物。

【請求項 28】

前記第 1 または第 2 の治療有効量の接着間質細胞の投与が独立して、血管内注射、筋肉注射、腹腔内注射、皮下注射、または吸入によるものである、請求項 23 に記載の組成物。

【請求項 29】

接着間質細胞の入手源が、胎盤であり、接着間質細胞の少なくとも 50 % が、胎児細胞である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 30】

前記少なくとも 1 つの追加的な治療有効量の接着間質細胞が、外因性造血幹細胞と共に投与される、請求項 17 に記載の組成物。

【請求項 31】

前記少なくとも 1 つの追加的な治療有効量の接着間質細胞が、外因性造血幹細胞と共に投与されない、請求項 17 に記載の組成物。

【請求項 32】

前記少なくとも 1 つの追加的な治療有効量の接着間質細胞が、外因性造血幹細胞と共に投与される、請求項 19 に記載の組成物。

【請求項 33】

前記少なくとも 1 つの追加的な治療有効量の接着間質細胞が、外因性造血幹細胞と共に投与されない、請求項 19 に記載の組成物。

【請求項 34】

前記接着間質細胞及び前記少なくとも 1 つの追加的な治療有効量の接着間質細胞の両方について、接着間質細胞の入手源が、胎盤であり、接着間質細胞の少なくとも 50 % が、胎児細胞である、請求項 17 に記載の組成物。

【請求項 35】

前記接着間質細胞及び前記少なくとも 1 つの追加的な治療有効量の接着間質細胞の両方について、接着間質細胞の入手源が、胎盤であり、接着間質細胞の少なくとも 50 % が、胎児細胞である、請求項 23 に記載の組成物。